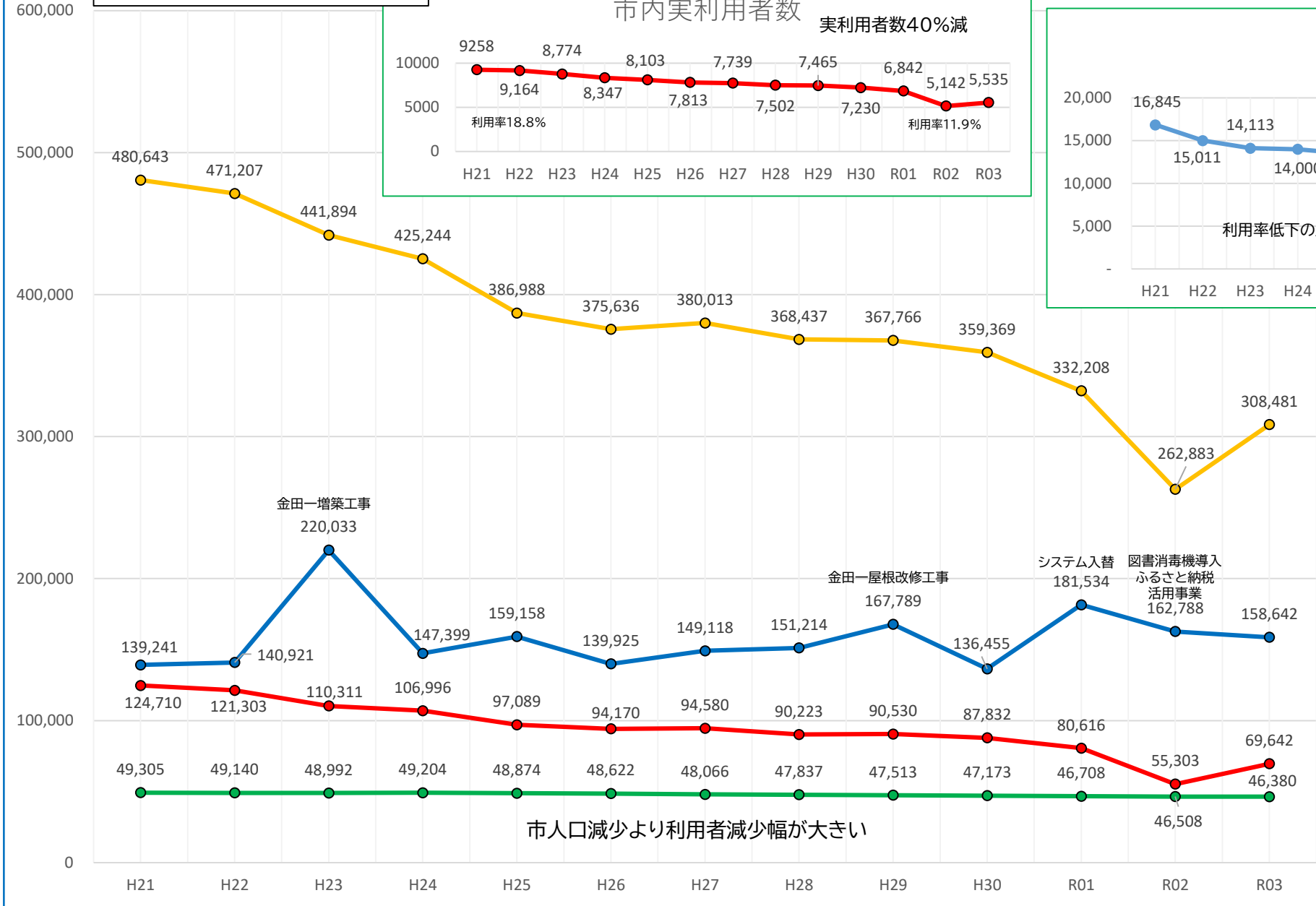
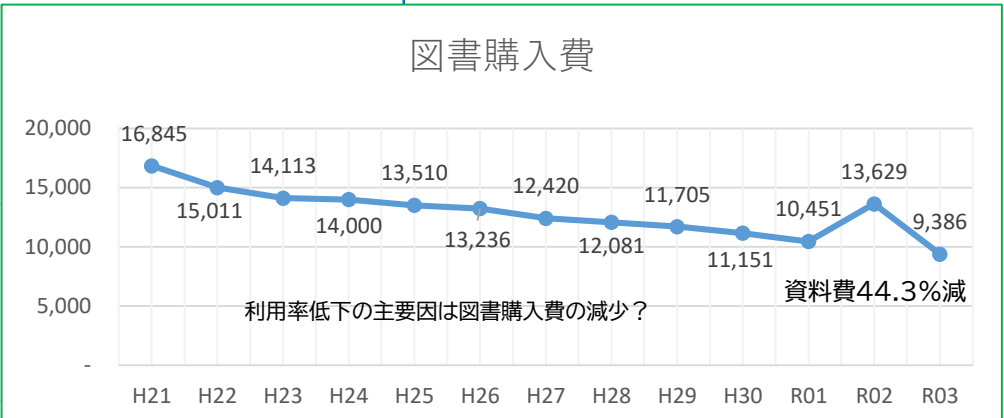


図書館活動指標グラフ

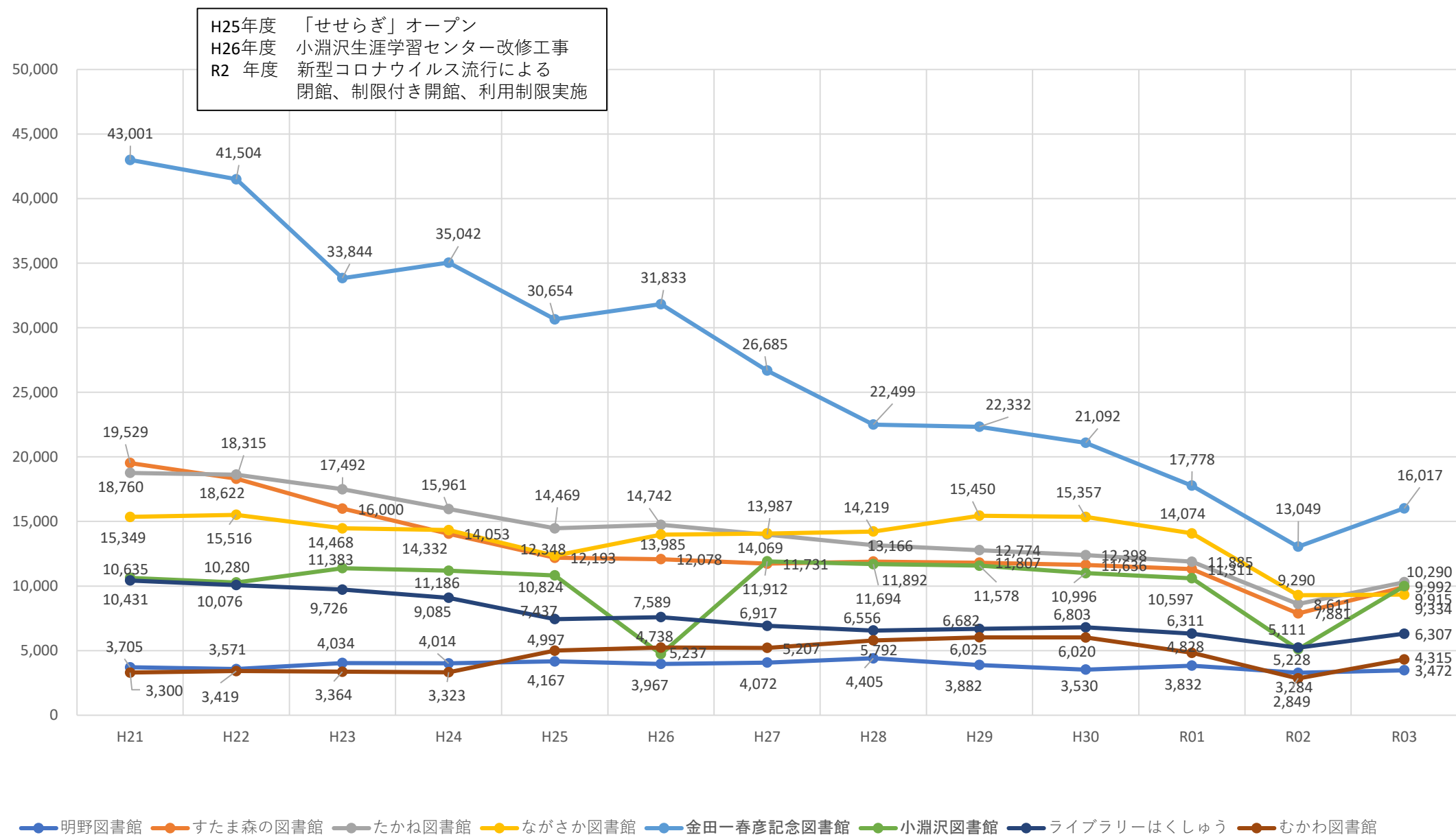


図書購入費

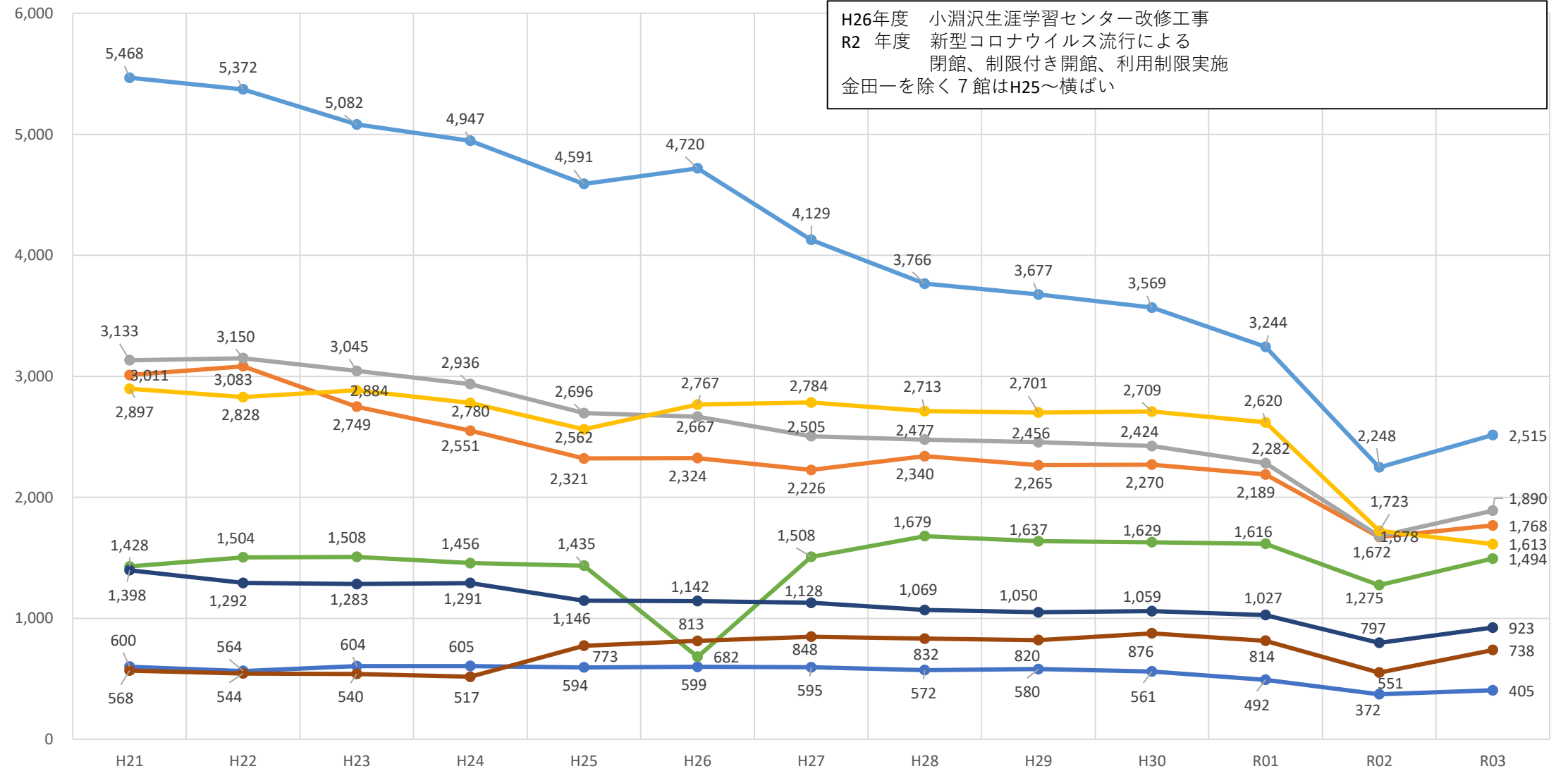


- 線：貸出資料数 (冊) 35.8%減
- 線：図書館決算額 (千円) 13.9%増
- 線：図書館のべ利用者数 (人) 44.2%減
- 線：市人口 (人) 6.0%減

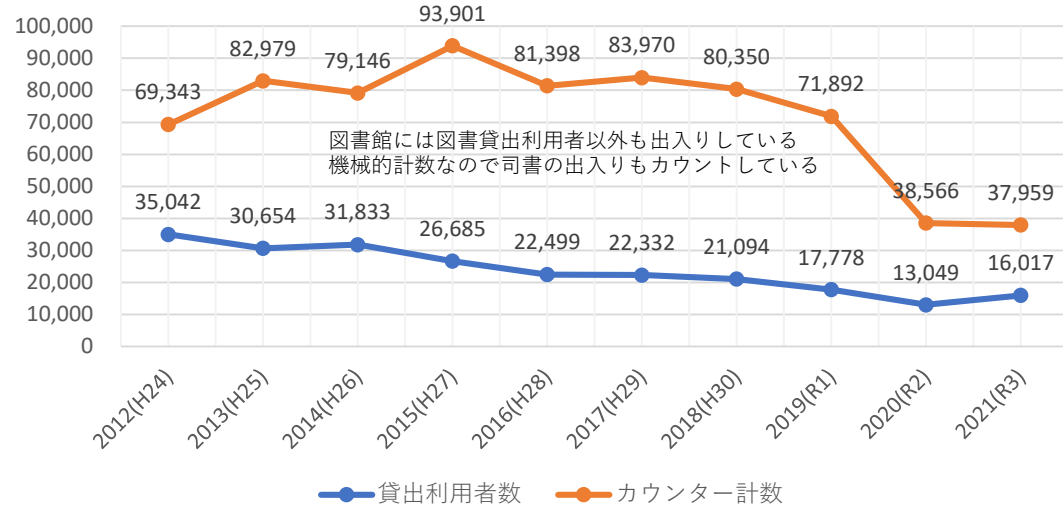
館別のべ利用人数



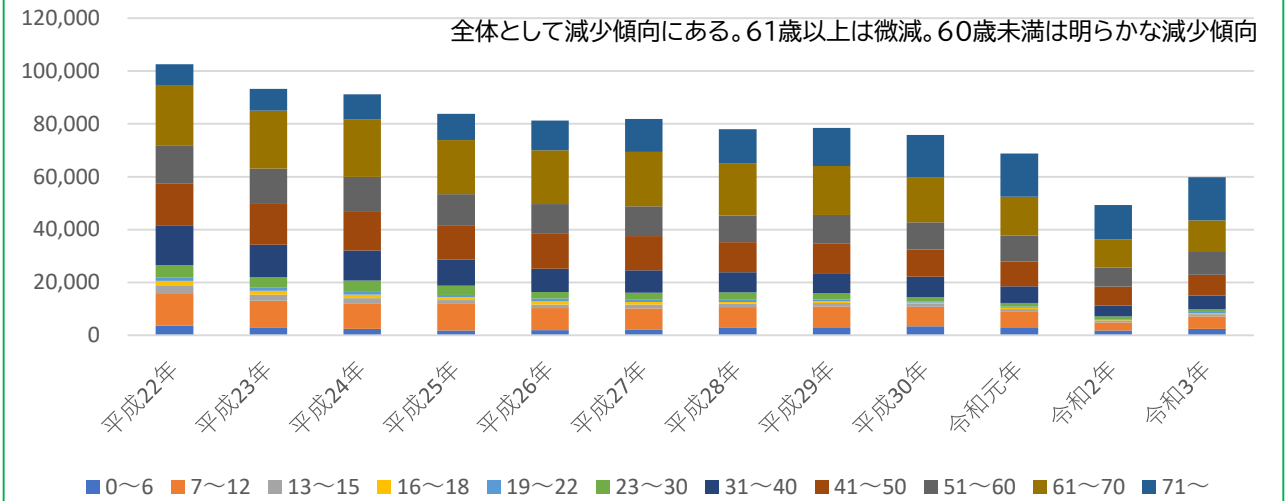
館別利用実人数



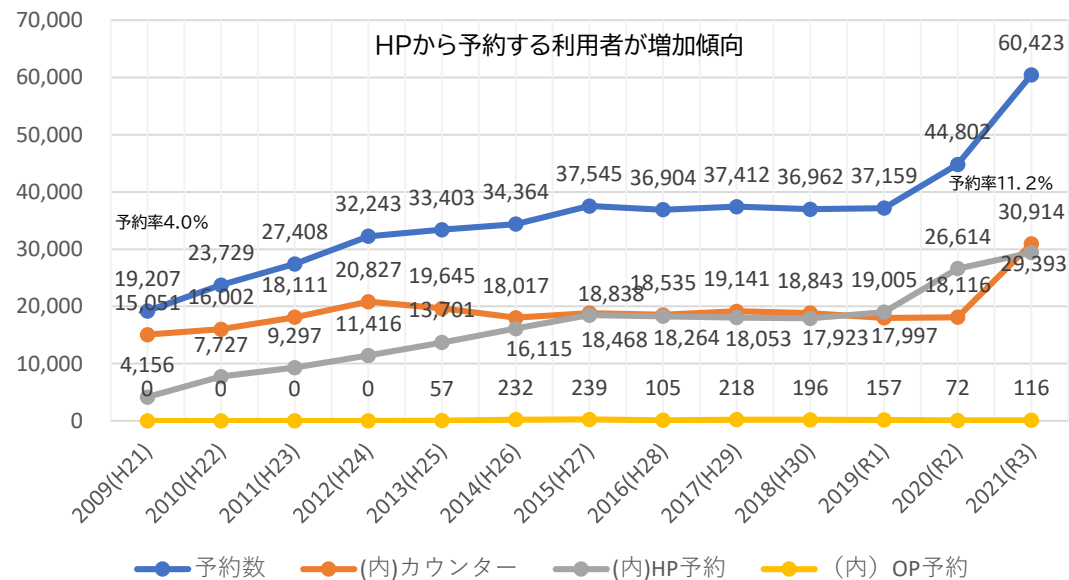
金田一春彦記念図書館



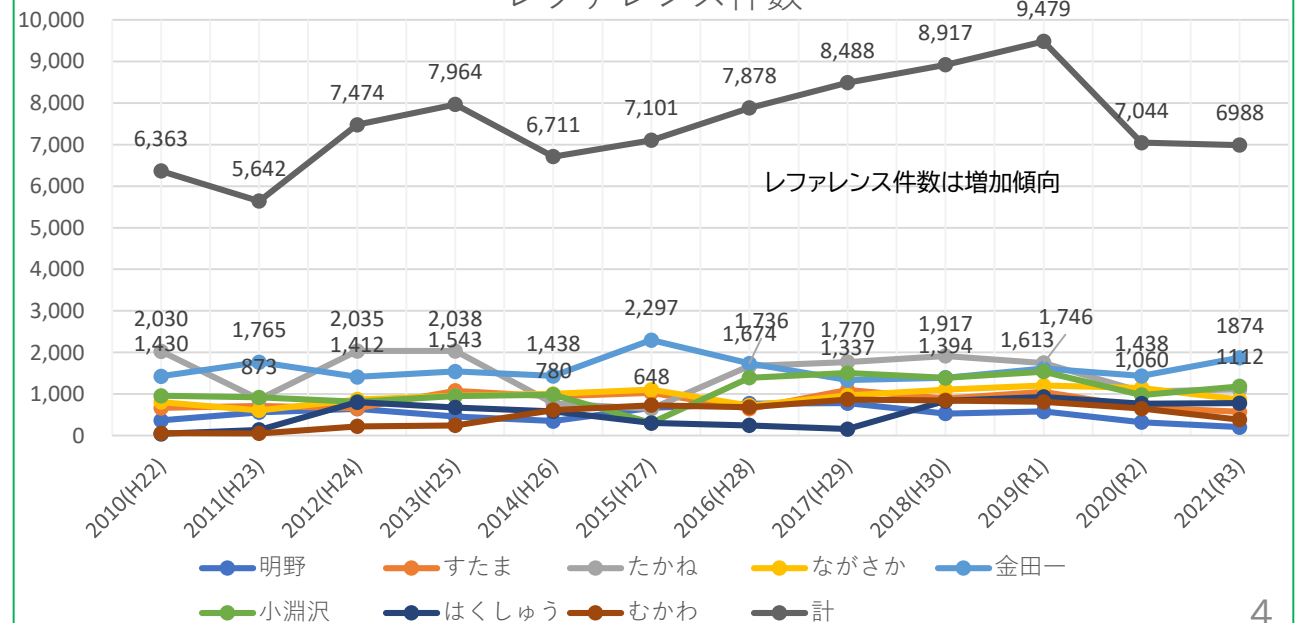
年齢階梯別利用実績



図書予約冊数



レファレンス件数



図書館と社会教育の課題

● 資源(ヒト・モノ・カネ)が8館に分散

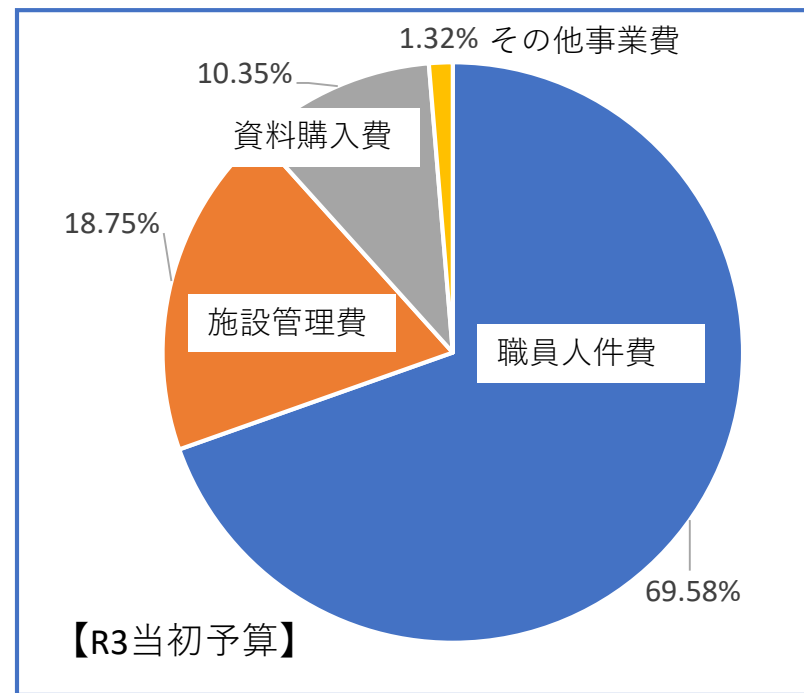
- ・ 図書館事業費 130,874千円 (R3当初予算)
 - 職員人件費 91,065千円(69.58%)
 - 施設管理費 24,541千円(18.75%)
 - 資料購入費 13,542千円(10.35%)
 - その他事業費 1,726千円(1.32%)
- ・ 職員3人・司書等46人が分散
- ・ 県内屈指の蔵書数 (46.6万冊) も分散

● 利用の低迷

- ・ 図書館利用者は市民全体の**11.9%** (令和3年度実績値)
- ・ 人口減少に比例。特に若い世代の利用減少が顕著

● 図書館と公民館の新たな役割

- ・ 公民館は施設管理、補助金事務支援が主体となりつつある。
- ・ 図書館は、本の貸出が中心 (**無料貸本屋**) **ではなく、市民活動支援が期待されている**
- ・ 公民館と図書館が連携し、市民活動・住民交流を支援する **社会教育機関としての役割**が必要



【参考】 文部科学省2006『これからの図書館像』

- ・ **社会・地域課題解決**のための図書館サービス
- ・ 公民館・図書館・博物館の**役割分担と連携**
- ・ **市民の自立、適正な判断力を支援**